

平成30年度  
事業報告書

公益財団法人  
新潟県保健衛生センター

# 平成30年度 事業報告書

## 1 事業総括

### (1) 概況

平成30年度事業は全般的に横ばい又は減少傾向にあり、少子化や高齢化などの影響により、当財団の主要事業である新生児保健や地域保健の特定健診、がん検診など受診者の減少と、人間ドック受診者の減少が明確に見られる。

事業別に見てみると、出生数に連動している母子保健の先天性代謝異常検査は、16,405件の実施で、前年度比較96.0%であった。

地域住民を対象とした特定健診は今年度33,991件で、前年度と比較すると98.6%の実施であった。各種の対策型がん検診についても、肺がん検診97.7%、胃がん検診96.2%、大腸がん98.1%、乳がん検診93.8%、子宮がん検診は98.4%の実施で、ほとんどの市町村で受診者数が減少しており、本県における人口減少の影響が大きいと考えられる。

また、今年度の大きな動きとして、実施主体である市町村が通常は行うべきがん検診の受付・問診等の業務を健診機関に委託（アウトソーシング）する傾向が強くなったことである。これまでの三条市・新発田市・柏崎市の受付・問診等の事務受託に加え、今年度は長岡市・見附市の健診事務等を受託した。

職域健診においては、昨年度に引続き新潟市教育委員会教職員健診2,500件を受託しており、出張健診の定期健康診断は19,912件で前年度と比較して98.1%で推移した。一方、人間ドック受診者は、前年度より170名ほど減少し95.8%の実施となった。当財団の内視鏡医師の不足により受入れ態勢を縮小せざるを得ない状況にあることや、新規ニーズに対する活動が乏しいことなどが減少する要因となっている。

健康支援事業では、新規に新潟市教育委員会教職員のストレスチェックを受託したため、3,600件の増加で全体としては118.7%の実施であった。その他、特定保健指導・健康教育等は前年度並みを維持している。

平成30年度は、全体として事業量が縮小しているが、地域中核健診機関として、引き続き、職員一丸となり、市町村との連携や民間事業所への渉外活動を強

化し事業の安定的な展開に努める。

## (2) 公益目的事業の内容と成果

当法人は、定款において公益目的を達成するための事業として7つの公益目的事業を掲げている。平成30年度において、それぞれの事業の概況と成果は、次のとおりである。

### ア 健康増進、生活習慣病予防及び早期発見のための(地域)健診事業

市町村の住民を対象に実施される、いわゆる「地域(住民)健診」は、県民の健康の保持増進を第一の目標に掲げる当財団の主要事業である。

長岡市、小千谷市、見附市、三条市など中越・県央地域を中心に、特定健診の実施数は今年度33,991件、前年度比98.6%であった。また、住民の各種がん検診について見ると、胸部検診はほぼ昨年並みを維持し、結核・肺がん併せて140,215件実施した。胃がん検診については、今年度16,070件の実施で、前年度比較96.21%の実施であった。大腸がん検診は、37,709件の実施で、前年度比98.1%であり、冬場に実施する加茂市の郵送検診が順調である。乳がん検診・子宮がん検診の婦人科検診は、前年度比較で93.8%、98.4%の実施にとどまった。引き続き、市町村との連絡を密に、健診体制の充実に努めていきたい。

### イ 働く人の健康管理業務全般にわたる支援活動業務

この事業は、労働安全衛生法に基づき事業所等が従業員に対して実施する定期健康診断や特殊健診、これと同時に実施する各種がん検診などである。

職域のうち民間事業所の定期健康診断の受託は減少したものの、行政、教育職場の占める割合が大きく、新潟市教育委員会教職員健診を受託したことで、施設のホール健診は14,541件の実施であった。今年度、厚生労働省からの通達により、従来的一般定期健康診断の血液検査等を省略するBコースの実施については、医師が認めた場合にのみ実施可能であり、一律に行うBコースは認めないこととなった。このことを受け、民間事業所等のBコースが一部を除きAコースに移行している。

人間ドックの受診者は、国保のドックや個人のドック受診者が健診プラザの影響を受け減少しているほか、今年度は民間保険組合の統廃合等によりドックを受診する人が減少してきたと思われる。ドックは3,823名で前年度比95.8%であった。

### ウ 母子保健、学校保健分野における検査事業

母子保健における新生児先天性代謝異常検査は、新潟県および新潟市から委託

を受け県内で唯一、当財団のみが実施している事業である。出生数の減少により、今年度は 16,405 件で前年度比較で 96.0%であった。精密検査機関である新潟大学小児科では、新生児マス・スクリーニング検査の先進的な取組みが行われつつあり、今後は当財団としても、出来るだけの協力体制を構築していく。

次に、学校保健においては、児童・生徒の心臓検診は、市町村小・中学校及び高校生を対象に 37,166 件実施した。また、新潟市や長岡市の教育委員会及び医師会との連携のもとに、小児腎臓病や小児糖尿病の早期発見のための尿検査（156,493 件）を担っており、今後とも、この分野における指導的機関としての役割を果たしていく。

### **エ 検査・健診の結果データの分析評価を地域社会に還元する事業**

当財団は、県内唯一の公益財団法人認定を受けた健診機関として、地元医師会や市町村等と連携しながら、健診・検査業務の精度の向上を図るとともに、その結果を疾病の早期発見や予防活動に活かし、地域保健活動の充実を目指している。今年度は、健診・検査の結果を統計的に分析した「平成 29 年度版事業年報」を編集発行した。また、県内で胸部疾患に関わる医師を対象にした「読影医師研修会」等を開催し、引き続き県内医師の読影技能の向上を目指している。

### **オ 予防医学思想の普及、健康増進啓発に向けた健康づくりへの支援事業**

この事業は、健康診断後における保健指導や一般市民を対象にした健康教育、糖尿病等の予防啓発を行うことにより、広く県民の健康づくりを支援していくことを目的にしている。

今年度は、「第 63 回予防医学事業推進全国大会 IN 新潟」を 32 年ぶりに新潟市で開催し、県民向けの公開講座で約 700 人の参加があった。

また、メディアシップ健康げんき倶楽部において、少人数（グループ）制の健康教育事業の一環として「心とからだの健康づくりセミナー」を継続的に実施するとともに、今年度も新潟市中央区からの「糖尿病予防セミナー」講座をメディアシップと NEXT21 で実施した。市民を対象にした第 14 回市民健康講座（テーマ・がんの早期発見と最先端治療）を県立がんセンターと連携して、平成 31 年 2 月 23 日に日報ホールで開催し、約 200 人の参加があった。

### **カ 感染症予防に関する知識の普及啓発並びに予防事業**

この事業は、腸内細菌やノロウイルスなどの感染症の蔓延を防止するため、食品取扱関係者や福祉施設・医療関係者などに感染症予防の知識を普及し、必要な検査を行うとともに、インフルエンザについては学校など集団感染が懸念される場所において集団の予防接種事業を行うものである。インフルエンザ予防接種は

9,239 件の実施であった。B型肝炎や麻疹・風疹を含む全体の予防接種事業は 11,907 件で前年度対比 99.2%の実施であった。

腸内細菌検査は、中越メジカルセンターの検査室において一元的に検査を実施することとし、長岡、上越方面の食品取扱関係者を中心に、今年度は 41,451 件で、昨年並みを維持した。

#### **キ 提携して業務を行う法人への協力事業**

当財団は、予防医学事業中央会ならびに結核予防会本部という、日本全体で保健活動を展開している二つの全国組織と提携し、それぞれの組織の新潟県支部として県民向けの啓発活動などの協力事業を実施している。特に、結核予防会複十字シール募金活動は、年間で約 260 万円の募金の実績があり、社会啓発活動に努めている。

また、予防医学事業中央会と共催して「第 63 回予防医学事業推進全国大会 IN 新潟」を開催した。

以上のような公益目的事業を通して、県民が生涯にわたり心身ともに快適な生活をおくることができるよう、地域保健、職域保健、母子保健、学校保健、感染症予防、健康づくりなどの各分野における保健衛生活動を継続的・安定的に実施していくことが当財団に課せられた使命であると考えている。

## 2 個別事業の報告

当財団は、定款において定める公益目的事業の区分とは別に、公益事業への移行設立時において、事業全体を「検査事業」「健（検）診事業」「健康づくり事業」の3つの個別事業に大別している。この3事業の実績と課題は次のとおりである。

### 第1 検査事業

#### (1) 母子保健

新潟県・新潟市より委託を受け実施している新生児マス・スクリーニングは、行政・新潟大学・県医師会の指導のもと、県内唯一の検査機関として引き続き高い精度を維持するよう努めている。

タンデムマス法による、アミノ酸代謝異常・有機酸代謝異常・脂肪酸代謝異常検査が開始されてから6年が経過した。対象疾患が20項目に拡大したスクリーニングは県内の病医院にも周知され、順調に推移しているが、出生数の減少により検査数は毎年減少傾向にある。

	当年度	前年度	前年度比%
先天性代謝異常検査	16,405	17,095	96.0

#### (2) 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査は、児童・生徒の腎臓病・糖尿病の早期発見・早期治療を目的に行われている。県内各市の教育委員会や医師会との連携を密に検査を実施しているが、今年度は認定こども園などの私立保育施設の増加により、尿検査は前年度比100.3%を維持している。

	当年度	前年度	前年度比%
寄生虫検査	105	114	
尿検査(一次・二次)	156,493	156,098	100.3
(うち、腎臓病精密検査)	302	568	
(うち、糖尿病精密検査)	19	52	
貧血検査	10,111	10,020	100.9

### (3) 感染症検査

感染症検査のうち、実施数が最も多い腸内細菌検査について、30年度は、41,451件、前年度比99.9%とほぼ昨年並みを維持した。一方、ノロウイルス・QFT検査は流行に左右される検査である。肝炎等の血液抗体検査などの専門性の高い感染症検査は医療系大学生の実習前検査等で実施しているが、今年は医療系専門学校が併設の病院で検査することとなり85.0%の実施であった。

	当年度	前年度	前年度比%
腸内細菌検査	41,451	41,589	99.7
食品検査	683	878	77.8
ノロウイルス検査	48	105	45.7
QFT検査	1,573	1,943	81.0
HPV検査	123	144	85.4
血液検査(抗体)	2,450	2,883	85.0

### (4) その他の検査

新潟市医師会メジカルセンターからの血液検査を受託しており、血液受託数は1,008件であった。また、県内の病医院などから、組織検査及び子宮がん・喀痰などの病理検査を受託しており、4,858件の実施であった。

	当年度	前年度	前年度比%
血液受託検査	1,008	952	105.9
病理受託検査	4,858	4,989	97.4

## 第2 健(検)診事業

### (1) 学校保健

学校保健安全法に基づき、4~6月までの間に小・中・高校生対象の心臓(心電図)検診、高校1年生対象の結核(胸部レントゲン)検診及び大学や専門学校の学生対象の健康診断を行っている。心電図検査については、心電図12誘導への移行が受託市町村において全て整い、新しい心電計の導入により、データ保存が可能となった。

	当年度		前年度	前年度比%
	学校数	人数		
結核検診	93	27,173	27,907	97.4
心臓検診	463	37,166	37,677	98.6
学生健診 (大・専門学生)	14	4,775	3,682	129.7

## (2) 地域健診

県内各市町村が高齢者医療確保法や健康増進法などに基づいて実施している特定健康診査及び各種がん検診について、当財団は、特定健診は中越・県央地域を中心に、がん検診は上越地域を除く県内全域の事業を担当している。長岡市、三条市、見附市などを中心とする特定健診は、前年度比98.6%の実施であった。総合型健診（ミニドック）の導入など健診のあり方が多様化する中、各種がん検診における事務委託が増加し、健診1日に従事する職員数が増加している。引続き、市町村担当者との密な連携が必要である。

	当年度		前年度	前年度比%	
	市町村数	人数			
特定健診	6	33,991	34,486	98.6	
結核検診 (65歳以上・39歳未満)	20	107,689	107,882	99.8	
地域がん検診	肺がん検診 (40歳以上)	20	140,215	143,486	97.7
	喀痰細胞診	13	2,212	2,759	80.2
	胃がん検診	7	16,070	16,709	96.2
	大腸がん検診	8	37,709	38,457	98.1
	乳がん検診	15	22,318	23,795	93.8
	子宮がん検診	12	13,970	14,203	98.4
	前立腺がん検診	6	4,523	4,379	103.3
骨検診	3	967	1,073	90.1	



### (3) 職域健診

労働安全衛生法に基づき事業所等が実施する定期健康診断は、民間事業所の受託契約の事業所数が減少しているが、行政・教育機関の職場の占める割合が大きく、新潟市教育委員会教職員健診を受託したため、出張の定期健康診断は19,912件、施設における定期健康診断数は14,541件であった。

		当年度	前年度	前年度比%
定期健診	出張	19,912	20,294	98.1
	施設	14,541	14,437	100.7
特殊健診		2,494	1,978	126.1
職域がん検診	胸部検診	38,374	40,919	93.8
	胃がん検診	14,419	15,076	95.6
	大腸がん検診	14,527	14,704	98.8
	乳がん検診	4,180	4,409	94.8
	視触診	0	748	
	子宮がん検診	4,762	5,264	90.5
	前立腺がん検診	1,969	2,037	96.7
事業所	骨検診	276	323	85.4

### (4) 人間ドック検診

当財団が提供する人間ドックは、各種健康保険組合、公務員共済組合との受託契約に基づくもののほか、全国健康保険協会（協会けんぽ）及び新潟市国保の検査項目に上乘せをして実施する形態など、受診者のニーズにできる限り対応するようにしている。健診プラザの影響や消化器専門医の不足などのため、受診者数が減少しており、新たな取組みが必要である。

	当年度	前年度	前年度比%
人間ドック	3,823	3,991	95.8

### 第3 健康づくり支援事業

#### (1) 特定保健指導

高齢者医療確保法に基づく特定保健指導は、小千谷市や見附市などの市町村からの委託により住民国保を対象にした出張の特定保健指導、及び人間ドック受診当日にメタボリックシンドロームに該当するかどうかの検査結果に基づく指導などを実施しており、ほぼ前年度並みの件数であった。

特定保健指導の区分	当年度 人	前年度 人
住民対象（市町村国保）	119	142
職域対象（協会けんぽ、共済組合など）	278	279
健康げんき倶楽部における特定保健指導	20	16

#### (2) ストレスチェック

労働安全衛生法により義務化されたストレスチェック検査は3年目となり、新潟県病院局・新潟日報社などに加え、今年度は新たに新潟市教育委員会教職員のストレスチェック検査を受託したため15,740人と大幅に増加した。

ストレスチェック	当年度 人	前年度 人
ストレス検査	15,740	12,169
医師面談指導	67	43
メンタルヘルス相談	4	3

#### (3) 生活習慣病予防事業

成人病検診センターに特殊（糖尿病・禁煙）外来を設置し、次のような予防事業を実施した。

##### ア 糖尿病予防事業

健診の結果を踏まえ、糖尿病または境界型糖尿病の疑いのある受診者を対象に、食事や運動の生活習慣の改善に積極的に取り組むことを目的とし、山田幸男医師の指導に基づき、糖尿病精密検査、糖尿病教室、フォローアップ外来を実施した。定期的な検査に加え、糖尿病の知識や自己管理などの教育・指導を行った。

#### イ 喫煙予防事業

毎週火曜日に禁煙外来を開設し、土屋俊晶医師のもとで禁煙指導を実施した。

生活習慣病予防事業	当年度 人	前年度 人
糖尿病予防事業	178	209
喫煙予防事業	96	76

#### (4) 健康相談（個別）

健康診断の結果を踏まえ、保健師、産業看護師、管理栄養士の専門職が受診者の健康に関する悩みに個別に対応したり、生活習慣病予防・改善対策として専門的な医療機関への受診勧奨などの健康相談事業を行った。

健康相談の区分	当年度 人	前年度 人
人間ドックにおける健康相談	3,817	3,982
事業所などの定期健康診断における健康相談 新潟市特定健康診査における健康相談 労災2次健康診断における健康相談他	1,317	1,351
メンタルヘルス相談（産業カウンセラー対応）	117	132
健康げんき倶楽部における健康相談	146	133

#### (5) 健康教育（集団）

市町村、学校、事業所、地区組織などが開催する健康教育に関する講演会などに専門スタッフを講師として派遣するとともに、当財団の独自事業として、第14回市民健康講座を開催した。

#### ア 第14回市民健康講座の開催

- ① 日時 平成31年2月23日（金）13：30～16：00 新潟日報ホール
- ② テーマ がんの早期発見と最先端治療
- ③ 内容

講演1 「胃内視鏡検診における新潟の貢献と将来展望」

成澤 林太郎 先生 新潟県立がんセンター新潟病院 臨床部長

## 講演2 「 乳がんをめぐる最近の話題 」

佐藤 信昭 先生 新潟県立がんセンター新潟病院 院長

## 「 座談会 」

佐藤 信昭 先生 新潟県立がんセンター新潟病院 院長

成澤 林太郎先生 新潟県立がんセンター新潟病院 臨床部長

横山 晶 (公財)新潟県保健衛生センター 会長

土屋 俊晶 (公財)新潟県保健衛生センター 名誉会長

## ④ 参加者 約200人

## イ 「心とからだの健康づくりセミナー」の開催

メディアシップ健康げんき倶楽部において、「心とからだの健康づくりセミナー」を継続的に実施するとともに、今年度新たに、生涯現役促進地域連携事業（新潟労働局委託事業）でシルバー人材センターより「健康セミナー」を受託し、新潟市（2回）、小千谷市（1回）、五泉市（1回）で開催した。

## ウ 関係機関が主催する各種健康づくり活動への参加

① 第37回おぢや健康福祉まつり 平成30年10月 8日（日）

② 長岡すこやかともしび祭り 平成30年 9月29日（土）

③ 福祉・介護健康フェア2018 平成30年11月18日（日）

## （6）予防接種

感染症予防の一環として、医療従事者や学生を対象に、B型肝炎、麻疹、風疹、ムンプス、水痘など感染症の抗体検査及び予防接種を実施した。

また、大規模事業所や学校などの集団で生活する人たち約9,239人を対象にインフルエンザ予防接種を実施した。

予防接種	当年度 人	前年度 人
インフルエンザ	9, 239	9, 322
B型肝炎・その他のワクチン	1, 950	2, 045

## （7）その他の支援活動

### ア 外国籍住民検診

健康診断を受ける機会が少ない外国籍住民の「無料医療相談会」において、

無料で胸部がん検診を行い、県内在住外国人の健康管理のサポートに努めている。平成30年6月2日（土）新潟市中央区「クロスパルにいがた」で実施した。

#### イ 身体障害者への受診対応

県下で唯一リフト装置付胸部検診車を配備し、福祉施設の入所者などに対する受け入れ体制を整え、受診機会を損ねることのないよう努めている。

### 第4 その他関連事業

#### (1) 関連機関への参加協力

##### ア 結核予防会及び予防医学事業中央会への加盟

それぞれの中央本部と連携し、新潟県支部としての活動を推進してきた。

- ① 第70回結核予防全国大会参加 平成31年 2月27日・28日 東京
- ② 予防医学事業全国大会参加 平成30年10月25日・26日 新潟

##### 【全国大会の概要】

- 1 事業の名称 「第63回予防医学事業推進全国大会 IN 新潟」
- 2 大会テーマ 「子どもたちの元気と地域の元気が日本の未来を開く」
- 3 開催日程 平成30年10月26日（金）10:00～15:00
- 4 開催会場 ホテルオークラ新潟  
〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53
- 5 主催 公益財団法人 予防医学事業中央会  
公益財団法人 新潟県保健衛生センター
- 6 参加者 来賓、予防医学事業中央会各県支部、県内行政・医療関係者、県内健診機関関係者、新潟県食生活改善推進委員協議会、協賛企業・メーカー、新潟県民、新潟市民 等  
合計 650名

##### 7 大会概要

##### (1) 記念式典 10:00～

- 大会会長挨拶 公益財団法人 新潟県保健衛生センター 会長 横山 晶
- 大会式辞 公益財団法人 予防医学事業中央会  
理事長 櫻林 郁之介 様

- 歓迎の言葉 新潟県知事 花角 英世 様  
(代理：新潟県副知事 溝口 洋 様)
- 新潟市長 篠田 昭 様
- 新潟県医師会長 渡部 透 様  
(代理：新潟県医師会理事 塚田 芳久 様)

感謝状贈呈 予防医学事業中央会感謝状贈呈者 2名  
公益財団法人 新潟県保健衛生センター  
名誉会長 土屋 俊晶 様

公益財団法人 東京都予防医学協会  
理事長 小野 良樹 様

表彰式 平成30年度予防医学事業中央会賞（小宮記念賞）2名  
公益財団法人 神奈川県予防医学協会  
常務理事・事務局長 北見 護 様

公益財団法人 静岡県予防医学協会  
常務理事・事務局長 加藤 吉隆 様

※予防医学事業中央会奨励賞は大会記念レセプションにおいて、各支部職員36名（出席者34名）に授与された。

来賓祝辞 厚生労働大臣 根本 匠 様  
（代読：厚生労働省 健康局健康課課長補佐 中村 洋心 様）

文部科学副大臣 浮島 智子 様  
（代読：文部科学省 初等・中等教育局  
健康教育・食育課長補佐 大塚 和明 様）

日本医師会会長 横倉 義武 様  
（代理：日本医師会 常任理事 羽鳥 裕 様）

大会宣言 公益財団法人 新潟県保健衛生センター理事長 安藤 哲也  
次期開催県挨拶 公益財団法人 香川県予防医学協会  
理事長 河合 公三 様

記念講演 11：00～12：00

演 題 「子どもたちの元気と地域の元気」

講 師 新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院

院 長 内山 聖 先生

## (2) 県民公開講座

文化講演 13：00～14：00

演 題 「鷗外と二人の越後の医学者」

講 師 元新潟県知事 平山 征夫 氏

学術講演 14：00～15：00

演 題 「血液一滴でがんの早期発見」

講 師 公益財団法人 がん研究振興財団理事長 堀田 知光 先生

③ 予防医学技術研究集会参加 平成31年 2月6日～7日 茨城  
技術研究集会において、次の研究発表を行った。

○「当財団の臨床検査機器等の入替えに関する報告」

検査課 石田 和行

○「胸部検診デジタル化に伴う読影システムの変遷について」

健診第2課 渡辺 絵梨香

イ 新潟県検診機関協議会への参加協力

新潟県健康づくり財団が事務局を担当している協議会の会議・研修会に参加するほか、肺がん検診部会委員長施設として、より精度の高い検診が実施できるよう、会の運営に協力した。

## (2) 専門委員会等の開催

健診検査業務の精度の向上を図ると共に事業を円滑に実施するため、新潟大学や医師会等と連携し専門委員会を下記のとおり開催した。

ア	肺がん検診専門委員会(2ヵ月1回開催)	平成30年	7月～31年1月
イ	母子関係事業懇談会	平成31年	1月29日
ウ	胸部検診読影委員会	村上地区	平成30年 8月30日
		新発田地区	平成30年10月 6日
		三条地区	平成30年 3月 9日
エ	新潟市読影医師研修会	平成30年	11月17日
オ	子宮がん検診委員会	平成31年	3月26日

## (3) 結核予防複十字シール募金運動

結核予防会本部が全国運動として展開している複十字シール募金を本年度も、保健所、新潟県食生活改善推進委員協議会等の協力を得て行った。

平成30年度募金額 2,627,956 円 (目標額 2,800,000 円)

### 3 施設設備の整備

平成30年度における主な設備投資は、次のとおりである。

#### (1) 胸部エックス線検診車

レントゲンデジタル化をより一層推進するため、胸部デジタル検診車（D-8号）を新規配備した。更に胸部デジタル検診車（D-9号）については、既存の県央号を改造することで、平成31年4月納車した。

##### ア 胸部レントゲン検診車 D-8号

平成29年11月15日 キヤノンメディカルシステムズ株式会社 契約締結  
平成30年 6月25日 納車  
平成30年 6月28日 検収  
7月20日 支払 38,178,000 円（税込）

##### イ 胸部レントゲン検診車 D-9号

平成30年 9月28日 富士フィルムメディカル株式会社 契約締結  
平成31年 4月22日 納車  
平成31年 4月25日 検収（支払いは、令和元年度において処理する。）

#### (2) 子宮がん検診車（中古車）

出張型子宮がん検診から撤退する健診機関より、中古車を購入し3～4年程度の稼働を見込んで整備した。

検診車 三菱 子宮がん検診車 平成11年3月製（子宮がん3号車）  
購入先 一般財団法人 健康医学予防協会  
購入額 108,000 円（税込）

#### (3) その他固定資産購入一覧

##### 【車両】

ア ホンダフリード（新潟502ふ1327） 2,039,608 円（税込）

##### 【建物附属設備】

ア 本館冷温水発生機 燃焼・電装部品交換 2,320,920 円（税込）  
イ 電動式移動柵（カルテ庫） 3,100,000 円（税込）  
ウ 本館3階サーバー室エアコン 217,426 円（税込）  
エ 本館6階検査室エアコン 171,720 円（税込）



オ	分館2階胃カメラ室エアコン	135,000	円 (税込)
カ	分館1階マンモグラフィ検査室エアコン	167,400	円 (税込)
キ	分館サーバー室エアコン	167,400	円 (税込)
ク	旧館1階レントゲン作業室エアコン	172,800	円 (税込)

小計 6,452,666 円 (税込)

**【器具・備品】**

ア	胸部X線デジタル画像マッチングシステム i-Rad-QA	3,456,401	円 (税込)
イ	精検画像CD作成システム AOC Ver,アップ	1,042,879	円 (税込)
ウ	胸部検診車 X線装置管球交換 (793号)	1,150,200	円 (税込)
エ	胃部検診車 X線装置管球交換 (県央号)	2,106,000	円 (税込)
オ	胸部検診車 X線装置管球交換 (D2号)	2,214,000	円 (税込)
カ	外部読影医用画像表示システム	756,000	円 (税込)
キ	日医標準レセプト ORCA	775,440	円 (税込)
ク	胃部検診車メジインテンファイア交換 (E-53)	4,860,000	円 (税込)
ケ	本館1階 AED ハートスタート FRX-61304	253,800	円 (税込)
コ	薬用冷蔵ショーケース (検査課)	324,000	円 (税込)
サ	リオンオーゾオメーター (AA-57)	236,520	円 (税込)
シ	内視鏡吸引機パワーキャリーII	128,520	円 (税込)
ス	除雪機 (県央メジカルセンター)	584,000	円 (税込)

小計 17,887,760 円 (税込)

総額 64,666,034 円

**(4) 長期借入金及び長期リース負債の償還**

ア 長期借入金

- ① 借入先 第四銀行県庁支店
- ② 当年度中の償還額 9,996,000 円
- ③ 借入の内容 胸部X線検診車の購入代金に充当。

イ 長期リース負債

- ① リース先 栄研化学株式会社
- ② 当年度中の償還額 16,848,000 円
- ③ リースの内容 検査課 生化学検査機器導入

償還額 (計) 26,844,000 円

## 4 法人運営の状況

### (1) 主な会議の開催状況

定款の規定に基づき、理事会及び評議員会を次のとおり開催し必要事項を審議した。

#### ア 理事会

- |             |       |          |         |
|-------------|-------|----------|---------|
| ① 第13回定時理事会 | 平成30年 | 5月30日(水) | 本館4階会議室 |
| ② 第12回臨時理事会 | 平成30年 | 6月15日(金) | 本館4階会議室 |
| ③ 第13回臨時理事会 | 平成30年 | 9月27日(木) | 本館4階会議室 |
| ④ 第14回定時理事会 | 平成31年 | 3月22日(金) | 本館4階会議室 |

#### イ 評議員会

- |             |       |          |       |
|-------------|-------|----------|-------|
| ① 第7回定時評議員会 | 平成30年 | 6月15日(金) | 本館会議室 |
|-------------|-------|----------|-------|

### (2) 監査報告

令和元年 5月23日(木)に行われた監事監査の結果、平成30年度の事業報告及び決算について、適正の報告があった。

平成30年度 検査・健(検)診 事業状況

	事業区分	年度		30年度			前年度比較		
		H29年度	(A) 実施数	(B) 計画数	(C) 実施数	C/B (%)	C/A (%)		
検査事業	母子	先天性代謝異常検査		17,095	16,400	16,405	100.0	96.0	
	学校保健	寄生虫検査 ぎょう虫		114	0	105			
		尿検査		156,098	156,500	156,493	100.0	100.3	
		(再掲)	1次検査	141,723		142,314			
			2次検査	3,934		3,887			
			腎精検	568		302			
			糖精検	52		19			
		大学	9,821		9,971				
	貧血検査(小児生活習慣病含)		10,020	10,000	10,111	101.1	100.9		
	感染症	腸内細菌検査		41,589	42,000	41,451	98.7	99.7	
		食品検査		878	900	683	75.9	77.8	
		ノロウィルス検査(PCR法)		105	100	48	48.0	45.7	
		QFT検査		1,943	1,900	1,573	82.8	81.0	
		HPV検査		144	140	123	87.9	85.4	
		血液検査(抗体)		2,883	2,700	2,450	90.7	85.0	
	受託	血液	(新潟市医師会)	952	750	1,008	134.4	105.9	
			(ABC検診)	0	0	0			
	病理(開業医・他健診機関)		4,989	4,800	4,858	101.2	97.4		
	健診事業	学校保健	結核検診(高1年生・大・専門学生)		27,907	28,000	27,173	97.0	97.4
			心臓検診(小・中・高生)		37,677	38,000	37,166	97.8	98.6
学生健診(内科含む高・大・専門学生)			3,682	4,400	4,775	108.5	129.7		
地域検診(出張健診)		特定健診	全委託	31,889	32,800	31,430	96.0	98.6	
			一部委託	2,597	2,600	2,561			
		肝炎	特定・単独	2,088	2,100	1,776	84.6	85.1	
		前立腺がん	特定・単独	4,379	4,400	4,523	102.8	103.3	
		糖負荷試験		128	130	97	74.6	75.8	
		胸部検診	結核検診 間接撮影		107,882	108,000	107,689	99.7	99.8
			肺がん検診 間接撮影		143,486	144,000	140,215	97.4	97.7
			喀痰細胞診		2,759	2,800	2,212	79.0	80.2
		胃がん検診		16,709	16,800	16,070	95.7	96.2	
		大腸がん検診		38,457	39,000	37,709	96.7	98.1	
		乳がん検診		23,795	23,500	22,318	95.0	93.8	
		再掲	(マンモ1方向)		19,102		17,983		
			(マンモ2方向)		4,693		4,335		
		子宮がん検診		14,203	14,500	13,970	96.3	98.4	
		腹部超音波		0	0	0			
		骨粗しょう検診		1,073	1,150	967	84.1	90.1	

事業区分	年度	H29年度		30年度		前年度比較			
		(A) 実施数	(B) 計画数	(C) 実施数	C/B (%)	C/A (%)			
健診事業	職域検診	定期健康診断		20,294	21,000	19,912	94.8	98.1	
		出張健診	A (推奨・充実・法定)	4,123		5,139			
			B (推奨・法定)	3,624		70			
			協会 (生活習慣病健診)	3,416		3,489			
			新採用 (雇用時) 検診	201		270			
			深夜業務従事者健診	566		1,886			
			他保険組合健診	6,259		5,693			
			その他健診	2,105		3,365			
		施設健診	ホール健診	14,437	14,500	14,541	100.3	100.7	
			ドック	3,991	4,200	3,823	91.0	95.8	
		各種検査・がん検診	特殊健診		1,978	1,900	2,494	131.3	126.1
			胸部検診		40,919	41,000	38,374	93.6	93.8
			(再掲)	単独病院・施設	5,436		7,180		132.1
				出張	17,171		15,493		
				ホール	11,926		11,913		
ドック	3,955				3,788				
喀痰細胞診			479	500	576	115.2	120.3		
健診事業	職域検診	各種検査・がん検診							
		胃がん検診		15,076	15,000	14,419	96.1	95.6	
		(内訳)	胃カメラ (ドック・ホー)	2,296		2,119			
			出張	5,323		5,108			
			ホール	5,248		5,194			
			ドック	1,998		1,756			
			単独	217		242			
		大腸がん検診		14,704	14,500	14,527	100.2	98.8	
		(内訳)	出張	4,993		4,919			
			ホール	5,783		5,876			
			ドック	3,928		3,732			
		乳がん検診		4,409	4,400	4,180	95.0	94.8	
		(内訳)	出張	1,230		1,382			
			ホール	1,905		1,640			
			ドック	1,274		1,158			
		視触診		748	0	0			
		子宮がん検診		5,264	5,250	4,762	90.7	90.5	
		(内訳)	出張	2,037		2,054			
			ホール	1,996		1,645			
			ドック	1,229		1,063			
		前立腺がん検診		2,037	2,000	1,969	98.5	96.7	
		(内訳)	出張	310		303			
			ホール	281		288			
ドック	1,446			1,378					
骨粗しょう検診		323	300	276	92.0	85.4			
(内訳)	出張	12		13					
	ホール	93		51					
	ドック	218		212					
健康支援	感染予防	予防接種		12,000	12,000	11,907	99.2	99.2	
		(内訳)	インフルエンザ	9,322	10,000	9,239			
			B型肝炎	2,045	2,000	1,950			
			麻疹・風疹 (MR)	291	0	293			
			ムンプス	255	0	214			
			水痘	67	0	60			
			肺炎球菌	11	0	14			
			破傷風	0	0	137			
			ツベルクリン反応	9	0	0			
		総計		832,891	834,920	817,719	97.9	98.2	

平成30年度 健康づくり支援事業実施状況

事業区分		年 度	30年度			前年度比較	
		H29年度	(B) 計画数	(C) 実施数	C/B (%)	C/A (%)	
健 康 支 援	特定保健指導	住民健診	142	140	119	85.0	83.8
		職域健診	279	270	278	103.0	99.6
		健康げんき倶楽部	16	20	20	100.0	125.0
	ストレスチェック	ストレス検査	12,169	11,500	15,740	136.9	129.3
		医師面接指導	43	50	67	134.0	155.8
		メンタルヘルス相談	3	10	4	40.0	133.3
	生活習慣予防	糖尿病予防事業	209	200	178	89.0	85.2
		喫煙予防事業	76	70	96	137.1	126.3
	健康相談	人間ドック健康相談	3,982	4,200	3,817	90.9	95.9
		定期健康診断・労災2次・新潟市特定における健康相談	1,351	1,300	1,317	101.3	97.5
		健康げんき倶楽部健康相談	133	160	146	91.3	109.8
		産業カウンセラーによるカウンセリング	132	100	117	117.0	88.6
	健康教育	市民健康講座	195	250	207	82.8	106.2
		健康げんき倶楽部健康づくりセミナー	194	200	184	92.0	94.8
		連携講座・受託セミナー	218	230	241	104.8	110.6
		講師派遣	401	400	664	166.0	165.6
総 計		19,543	19,100	23,195	121.4	118.7	